

チェックしましょう 認知症が疑われるサイン

以下のチェックリストを参考に「認知症かもしれない」というサインに早めに気づき、地域包括支援センターなどに相談しましょう。

認知症による変化は、本人よりも周囲の人が気づきやすいことも多いので、身近な家族などが一緒にチェックしましょう。



- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 直前にしたことや話したことを忘れてしまうようになった。 | <input checked="" type="checkbox"/> おしゃれや清潔感など身だしなみに気を使わなくなった。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 同じことを何度も言ったり、聞いたり、したりするようになった。 | <input checked="" type="checkbox"/> 今まで好きだった趣味などへの興味や関心がなくなった。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 置き忘れやしまい忘れが増えて、いつも探しものをしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 外出したり、人と会ったりするのをおっくうがり、嫌がるようになった。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 知っているはずの人やものの名前が出てこなくなった。 | <input checked="" type="checkbox"/> 今までできていた家事、計算、運転などのミスが多くなった。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> つじつまの合わない作り話をするようになった。 | <input checked="" type="checkbox"/> 日付や時間を間違えたり、慣れた道で迷ったりするようになった。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 以前にくらべ、ささいなことで怒りっぽくなった。 | <input checked="" type="checkbox"/> 財布が見当たらないときなど、盗まれたと人を疑うようになった。 |

《問い合わせ先》 対馬市地域包括支援センターは、高齢者の生活を総合的に支えています。

名 称	担 当 地 区	連 絡 先
南部サブセンター	厳原町・美津島町(根緒から大山まで)	0920-53-6111
中部サブセンター	美津島町(小船越から濃部まで) 豊玉町・峰町・上県町の一部(久原・女連・鹿見)	0920-58-1116
北部サブセンター	上対馬町・上県町(久原・女連・鹿見を除く)	0920-84-2313
対馬市地域包括支援センター	島内全域	0920-53-6111

認知症の困りごと・心配ごとに対応

認知症 初期集中支援チーム

を ご 存 じ ですか？



認知症初期集中支援チームとは

認知症初期集中支援チームは、認知症の人や認知症の疑いのある人、その家族のもとに訪問して、認知症についての困りごとや心配ごとなどの相談に対応する、認知症の専門家たちによって構成されたチームです。

認知症は誰もがなる可能性のある病気であり、早めの対応が必要です。ひとりで抱え込まず、まずは地域包括支援センターなどにご相談ください。

すばやく集中的なサポートで、認知症の困りごと・心配ごとを解決します

認知症初期集中支援チームって どんなことをするの？

認知症の人やその家族に対して、認知症かどうか診断したり、適切な医療サービスや介護サービスを紹介したりするために、チーム員が自宅に訪問して一定期間（おおむね6か月以内）集中的に支援します。



対象となる人は？

40歳以上の自宅で生活している認知症の人や認知症が疑われる人で、

- ◎ 認知症の診断を受けていない人や治療を中断している人
- ◎ 適切な医療サービスや介護サービスを受けていない人
- ◎ 医療サービスや介護サービスを利用しているも症状が悪化して対応に悩んでいる人

などが対象となります。



チーム員は どんな人たちなの？

医療、福祉、介護の専門家たちによって構成されています。

- 医師 ● 保健師 ● 看護師
- 作業療法士 ● 歯科衛生士
- 精神保健福祉士 ● 介護福祉士
- 社会福祉士
- 地域包括支援センター職員 など



どうして「早めの対応」が 必要なの？

認知症は、現在完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な対応をすれば、そのらしい充実した暮らしを続けることができるからです。

早期発見による3つのメリット

- メリット1 早期治療で改善も期待できる**
認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し早期に治療をはじめると、改善が期待できるものもあります。
- メリット2 進行を遅らせることができる**
認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。
- メリット3 事前にさまざまな準備ができる**
早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。



相談から支援までの流れ

地域包括支援センター などに相談



初回家庭訪問

依頼を受けたチーム員2～3人で訪問します。
※その後も必要に応じて訪問



チーム員会議

適切な医療サービスや介護サービスを検討し、ケア方針を作成します。

- 専門医療機関の紹介
- 受診に向けた適切な方法
- 本人の状態に合った介護保険サービス など



初期集中支援の実施

状態に応じた支援を行います。

- 専門医受診に向けた動機付け
- 家族への助言
- 身体を整えるケア
- 生活環境の改善 など



医療やケアマネジャー などへの引き継ぎ・支援



本人が受診を 拒むこともあります。

「自分が認知症かもしれない」という不安はとても大きなものです。家族など周囲が受診をすすめても、本人が頑なに拒むこともあります。そんなときは、まずは家族だけで地域包括支援センターなどに相談し、アドバイスを受けることもできます。

